

# 埼玉アートシアター通信

2017 1月-2月

SAITAMA  
ARTS THEATER  
PRESS  
VOL.67

## 彩の国2017 年間ラインナップ発表!

4月1日、埼玉会館リニューアル・オープン!

1万人のゴールド・シアター2016

『金色交響曲～わたしのゆめ、きみのゆめ～』観劇レビュー

藤田貴大

竹澤恭子

アンドラーシュ・シフ

## ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団 『カーネーション-NELKEN』

Tanztheater Wuppertal Pina Bausch "NELKEN"



CONTENTS

- 03 **4月1日、埼玉会館 リニューアル・オープン!**
- 06 **〈PLAY〉 終わらぬ夢を紡ぎ出す大群集劇**  
1万人のゴールド・シアター2016『金色交響曲〜わたしのゆめ、きみのゆめ〜』  
観劇レビュー
- 08 **〈PLAY〉 埼玉県在住・在学の中学生以上20歳以下の出演者を募集します。**  
藤田貴大 Interview
- 10 **彩の国2017 年間ラインナップ**
- 12 **〈DANCE〉『カーネーション』とピナと私**  
ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団『カーネーション-NELKEN』
- 14 **〈MUSIC〉 彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画「次代へ伝えたい名曲」第9回**  
竹澤恭子 音楽家と名曲とのしあわせな出会い
- 16 **〈MUSIC〉 アンドラーシュ・シフ**  
バランスとこだわりの極み
- 18 **REVIEW**
- 20 **イベントカレンダー／チケットインフォメーション／彩の国シネマスタジオ**
- 23 **INFORMATION**
- 24 **〈COLUMN〉岩松 了 連載「どっちつかずの天使」**

[表紙] ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団『カーネーション-NELKEN』 Photo © Jochen Viehoff  
編集 © 川添史子、榊原律子 デザイン © 柳沼博雅

© 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 Published on 15 January 2017 All Rights Reserved by Saitama Arts Foundation  
※掲載情報は、2016年12月25日現在のものです。公演は追加および一部変更される場合がありますので、ご了承ください。



SAITAMA  
HALL  
REOPENS!

# 4月1日、埼玉会館 リニューアル・オープン!

2015年10月から大規模改修工事に入っていた埼玉会館が、この春、いよいよリニューアル・オープンいたします。歴史的に価値ある建築に触れていただく貴重な機会、皆さまのご来場を、心よりお待ちしております。では、リニューアル・オープン記念公演をご紹介します!



# 埼玉会館リニューアル・オープン記念事業

## 日本のモダン建築の巨匠・前川國男による設計

今回の改修工事は、「前川建築の保存と継承」を大きなテーマに、老朽化した建物の補修や設備のリニューアルをしました。もとは、「御成婚記念埼玉会館」として大正15年（1926年）に開設された埼玉会館。その後、昭和41年（1966年）に、戦前・戦後を通じて日本近代建築の歴史に大きな足跡を残した建築家、前川國男の設計で現在の姿に建て替えられました。前川は、世界遺産登録された国立西洋美術館の建設にも師ル・コルビュジエとともに携わったほか、数々の名建築を残した日本建築界の巨匠。埼玉会館もその代表作の一つです。歴史ある埼玉会館に今後ご注目ください。



SAITAMA HALL REOPENS!

### リニューアル・オープン当日は華やかな弦楽合奏で 大谷康子&東京交響楽団室内合奏団



photo◎尾形正茂

ジョナサン・ノット音楽監督のもと興奮と感動の名演を繰り広げている、今、首都圏でもっとも熱いオーケストラ、東京交響楽団。その弦楽器パートの名手が集い、埼玉会館のリニューアル・オープンを音楽で祝います。独奏は、TV「題名のない音楽会」などでもおなじみ、東京交響楽団名誉コンサートマスター大谷康子。聴く人みんなを幸せにする大谷のヴァイオリンと、音楽の喜びに満ちた弦楽アンサンブルが贈る、祝賀の日ならではの華やかな名曲プログラム！



photo◎加藤英弘

### 埼玉会館で撮影された名作映画『砂の器』



©1974 松竹株式会社 / 橋本プロダクション

1974年公開、松本清張の小説を野村芳太郎監督が壮大なスケールで映画化、橋本忍&山田洋次脚本による社会派サスペンス巨篇。国鉄の操車場で発生した殺人事件は、被害者の身元が分からず、捜査は難航し——。実はこの映画、クライマックスのコンサート・シーンが埼玉会館で撮影されました。交響曲「宿命」の演奏を織り交ぜながら、逃れられない父子の宿命が浮かび上がるクライマックスは圧巻です。モスクワ国際映画祭の審査員特別賞を受賞、世界も評価した名作をどうぞ。

### 奥深い伝統芸能を堪能、狂言『万作・萬斎の世界』



野村万作

野村萬斎

人間国宝・野村万作と、狂言のみならず、現代劇や映画などでも活躍する野村萬斎による狂言公演をお届けします。まずは緊迫感溢れる前半部分と、笑いの渦巻く後半部分とのコントラストが鮮やかな名作『武悪』。そして、親子が繰り広げる、明るくおめでたい、ほのぼのとした笑いが魅力の『二人袴』。初心者でも分かりやすい、記念公演にふさわしいプログラムをお送りします。人気の「狂言講座」も開催。奥深く楽しい、伝統芸能の世界をご堪能ください。

### もちろん、おなじみの公演も！



photo◎加藤英弘

埼玉会館の人気コンサートが帰ってきます！ 平日昼のひととき、一流奏者の演奏をトークと共に楽しみいただく「埼玉会館ランチタイム・コンサート」。初回は6月、NHK交響楽団メンバーによる木管三重奏「トリオ・サンクアンシュ」の登場です。

そしてオーケストラ公演が復活します。7月は、“聴く”だけでなく“参加”もできるオリジナル企画「夏休みオーケストラランド！」（演奏：東京交響楽団）。恒例の「NHK交響楽団」公演は10月、ピアニスト小曾根真との共演です。お聞き逃しなく！



photo◎加藤英弘

## 埼玉会館リニューアル・オープン記念事業

### チケット発売中

#### 大谷康子&東京交響楽団室内合奏団 アフタヌーン・コンサート

**4.1(土)14:00 埼玉会館 大ホール**  
 [曲目] モーツァルト:《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章  
 エルガー: 愛の挨拶  
 クライスラー: 愛の喜び、美しきロスマリン  
 アーラー:《椿姫ファンタジー》より《乾杯の歌》  
 ヴィヴァルディ:《調和の靈感》より  
 チャイコフスキー:《弦楽セレナード》より第1楽章 ほか  
 チケット(税込) 一般 S席3,000円 A席2,000円  
 U-25\* (A席対象)1,000円/メンバーズ S席2,700円

### チケット当日販売

#### 彩の国シネマスタジオ『砂の器』

**4.7(金)10:30/15:00 埼玉会館 小ホール**  
 [監督]野村芳太郎 [原作]松本清張 [脚本]橋本 忍、山田洋次  
 [出演]丹波哲郎、加藤 剛、森田健作、島田陽子 ほか  
 (1974年/日本/143分/デジタル上映)  
 チケット(税込) ※当日現金支払いのみ  
 【全席自由・各回入替制・整理券制】  
 大人1,000円/学生500円(入場時に学生証をご提示ください)  
 [主催]特定非営利活動法人埼玉映画ネットワーク  
 [提携]彩の国さいたま芸術劇場、埼玉会館

発売日 一般 2.4(土) メンバーズ 1.28(土)

#### 万作・萬斎の世界

**4.16(日)15:00 埼玉会館 大ホール**  
 [出演]野村万作、野村萬斎、石田幸雄、深田博治、高野和憲、月崎晴夫、飯田 豪  
 [演目]『武悪』、『二人袴』  
 チケット(税込) 一般 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円  
 U-25\* (B席対象)2,000円  
 メンバーズ S席4,500円 A席3,600円 B席2,700円

◆開演前に狂言講座を開催！  
**4.16(日)開演13:00(12:30開場)** ※約1時間予定  
 [出演]深田博治、高野和憲、月崎晴夫  
 ※4月16日公演チケットをお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。  
 ※狂言講座終了後、公演準備が整うまで一旦客席よりご退場いただきます。

発売日 一般 2.26(日) メンバーズ 2.25(土)

#### 埼玉会館ランチタイム・コンサート第31回 NHK交響楽団メンバーによる 木管三重奏「トリオ・サンクアンシュ」

**6.20(火)12:10(終了予定13:00) 埼玉会館 大ホール**  
 [出演]池田昭子(オーボエ)、松本健司(クラリネット)、菅原恵子(ファゴット)  
 [曲目] ブーランク: 即興曲第15番「エディット・ピアフへのオマージュ」  
 モーツァルト: 5つのディヴェルティメントより  
 オーリック: 三重奏曲 ほか  
 チケット(税込) 全席指定 1,000円

発売日 一般 4.1(土) メンバーズ 3.25(土)

#### 埼玉会館ファミリー・クラシック 夏休みオーケストラランド!

**7.29(土)14:00 埼玉会館 大ホール**  
 [出演]飯森範親(指揮)、朝岡 聡(MC)、東京交響楽団  
 ※詳細は次号にて発表いたします。

発売日 一般 4.15(土) メンバーズ 4.8(土)

#### NHK交響楽団 リオ・クオクマン(指揮) 小曾根 真(ピアノ) 10.7(土)16:00 埼玉会館 大ホール

※P.10-11「彩の国2017 年間ラインナップ」もあわせてご覧ください。  
 ※U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。



本家、さいたまゴールド・シアターの登場



こまどり姉妹による開会宣言



情熱的なセリフが飛び交うバルコニーのシーン

公募で集まった約1,600人の高齢者たちによる大群集劇——。  
シェイクスピアの傑作『ロミオとジュリエット』をモチーフにした前代未聞の企画が、  
半年間の稽古を経てついに本番を迎えた。  
約2時間、かつてないスケールで立ち上がった舞台は、  
参加者たちの熱演により大きな感動を呼んだ。



色とりどりの花を掲げ恋の華やぎを表現  
(中央は乳母役の岡田 正)



ロミオたちとジュリエットたちが傘の下に寄り添う



参加者全員が舞うフィナーレ

# 終わらぬ夢を紡ぎ出す 1万人のゴールド・シアター2016 観劇レビュー

5月に急逝した演出家・蜷川幸雄氏が生前に企画した大群集劇「1万人のゴールド・シアター2016『金色交響曲～わたしのゆめ、きみのゆめ～』」が、昨年12月7日、さいたまスーパーアリーナで上演された。蜷川氏の遺志を継ぎ、脚本を手掛けたノゾエ征爾氏が演出も担当。60代から90代までの男女約1,600人が出演し、1日限りのパフォーマンスに、8,000人余りの観客が惜しみない拍手を送った。

幕開け、アクティングエリアいっぱいに広がっていたのは巨大な高齢者施設の世界。ベッドに横たわる人、車いすに乗って移動する人、遊戯を楽しむ人、談笑する人……。すると、そんな彼らにマイクが向けられ、自己紹介や夢、この舞台にかける

思いなどを語り出す。ある女性は、夫が認知症を患い、家族の温かいサポートのもと稽古に通った日々を感慨深く振り返った。コメントが終わると全員から共感のような、賞賛のような拍手が湧き、ここに集う人たちが同じ強い思いを保ちながら、半年にわたる準備期間を経たことがしみじみと伝わってくる。ある男性が「結婚を強要したために娘を亡くした」と語り、続けて話す男性も「息子を亡くした」と言い……どうやら彼らは、キャピュレット家とモンタギュー家の人間。いつの間にか『ロミオとジュリエット』の物語へ突入し、ゆるやかに、そしてダイナミックに、ノンフィクションからフィクションへ移行していき、めくるめく劇世界が繰り広げられて

いった。

女性たちはみなジュリエットで白い衣裳、男性はロミオ役で黒い衣裳に身を包み、バルコニーの場面では情熱的に、切実に、拙い中にも自分の言葉としてセリフを口にしていく。役を真剣に演じながらも個人史を背負い、〈自分〉がはみ出すロミオとジュリエットたち。異なる個性がパワフルに存在を主張していくことによって、エネルギーが放出されていく。

出会いの場面は初々しい恋の始まりを、結婚式の場面では恋が成就される喜びの高まりを、二人の関係が引き裂かれる場面では臍がえぐられるような深い悲しみを。喜怒哀楽を照れも迷いもなく、思いきり表現していく彼らの表情を、中央に据えられ

# 大群集劇 『金色交響曲～わたしのゆめ、きみのゆめ～』

取材・文◎川添史子

た巨大スクリーンが投影していく。ラジオ体操、ファッションショー、阿波踊りといった、群集劇だからこそ出来る大人数の場面は、驚きの発想で原作のイメージを広げていく。〈ドレミの歌〉をはじめ、全員で歌う場面も、のびのびとした生命力を伝えてくれる。「あなたがこの世に生まれ あなたがこの世を去る その時涙はあるか その時愛はあるか……」と歌う〈生きるものの歌〉(作詞=永六輔、作曲=中村八大)の場面ではたくさんのロミオと、たくさんのジュリエットが抱擁をかわし、まるで命の讃歌のよう。忘れがたい景色となった。

ロミオのセリフを朗々と聴かせた木場勝己、〈恋に拍手を〉でにぎにぎしく開会宣言をし、さすがのステージングを見せたこま

どり姉妹といったスペシャルゲストも、この壮大な舞台に華を添えた。蜷川ゆかりの俳優たち、さいたまゴールド・シアター&さいたまネクスト・シアターなども参戦し、プロもアマチュアも一体となって、いまだかつてない規模の演劇に立ち向かう姿も頼もしい。

ロミオとジュリエットが死を選ぶ終盤、〈ボレロ〉に合わせて出演者全員が列をなし、人の渦が生き物のような大きなうねりをつくった場面は圧巻。曲が終わると首にかけていたストールを全員が空中高く投げ、会場からは感嘆の声が挙がった。

フィナーレでは「私の夢は、この公演を成し遂げることでした。ですので、今夜は、もぬけの殻になりそうです。でも大丈夫、

夢はたくさんあります」と一人の女性が言い、彼らの夢がまだ進行形だと伝わった。公演後はそのまま会場内で「解散式」が行われ、参加者が一斉に「蜷川さん、ありがとうございましたー！」と空に向かって感謝の言葉を贈った。

終演後の記者会見でノゾエが明かしたエピソードが印象的で「今日の朝、会場に向かう道で一緒になった人たちが、もう次の目標を話していた」という。とどまることを知らないエネルギー！『ロミオとジュリエット』はある意味、対立という社会構造からの解放の物語だが、「1万人のゴールド・シアター」も、現代社会がつくる〈高齢者〉という壁を、軽やかに乗り越える可能性を体現してくれた。

埼玉県内在住・在学の中学生以上20歳以下の出演者を募集します。

Interview

# 藤田 貴大

気鋭の作家・演出家として幅広く活躍する藤田貴大が率い、昨年の夏に上演されたワークショップ公演『ドコカ遠クノ、ソレヨリ向コウ 或いは、泡ニナル、風景』。新しい試みとなったこのクリエイションを、藤田自身に振り返ってもらった。彩の国さいたま芸術劇場での作品づくり、旧作に取り組む面白さ、7月に再び取り組むワークショップ公演への思いを聞く。

取材・文 ● 川添史子 Photo ● 細野晋司



藤田貴大  
Takahiro Fujita

1985年北海道伊達市生まれ。マームとジブシー主宰。演劇作家。桜美林大学文学部総合文化学科にて演劇を専攻。2007年にマームとジブシーを旗揚げ。象徴するシーンのリフレインを別の角度から見せる映画的手法が特徴。『かえりの合図、まてた食卓、そこ、きっと、しおふる世界。』で第56回岸田國士戯曲賞、『cocoon』(2015年再演)で第23回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。



昨年8月、彩の国さいたま芸術劇場のNINAGAWA STUDIO (大稽古場)で上演されたワークショップ公演『ドコカ遠クノ、ソレヨリ向コウ 或いは、泡ニナル、風景』には、10代から70代までの25名が出演。これほど多人数かつ広い年齢幅のキャストと作品づくりをした藤田貴大(作・演出)は、「新たな出会いとなった」と手応えを語る。この公演には、彩の国さいたま芸術劇場を拠点とする演劇集団「さいたまゴールド・シアター」「さいたまネクスト・シアター」から、オーディションで選ばれたメンバーも数名が参加。埼玉でしか生まれない公演となった。

「マームとジブシーでは一緒にやったことがないような方々を、意識してキャストिंगしたと思います。僕の普段の舞台は運動量のもので多く多いけど、高齢の方はハードに動いてもらえません。けれども、『このゆっくりとした動作でもいいのかも』と思える瞬間は、自分の作品の見せ方を拡張するような感覚があって、ゾワゾワしました。いつもの作品から引き算するというより、逆に技が増えていくというイメージが持てた。さいたまネクスト・シアターの人たちはマームと同年代ですが、アプローチが全く違うことに驚きましたね。僕自身、これまでに使ったことのない筋肉を使って、表現に向き合ったような気がします」

## 蜷川の遺したスタッフとの仕事

キャストだけではなく、「スタッフとの出会い」にも重点を置いた公演だったと藤田は語る。

「いつもマームと一緒にやっているスタッフではなく、初めて、劇場スタッフの皆さんとだけつくりあげた舞台でした。蜷川(幸雄)さんが遺した〈場所〉および〈その場所をつくってきた人たち〉とやってみてみたかったというのが、一番大きな動機です。数年前、蜷川さんが劇場を案内して下さったことがあったんですね。すごく自慢気だったことを覚えているんですが(笑)、あの時の僕はただの〈劇場にお邪魔したお客さん〉でした。でもその後、蜷川さんの半生を描いた『蜷の綿 -Nina's Cotton-』公演延期という出来事を通して、

僕たちのクリエイションに、積極的にかかわってくれるスタッフの皆さんの存在を強く感じ、距離感が縮まったような気がしたんです」

JR福知山線の脱線事故をモチーフとし、列車に乗り合わせた乗客たちが事故に遭遇するまでの記憶や風景が描かれた同作。マームとジブシーで2008年に初演(2012年再演)され、藤田作品に不可欠な〈記憶〉に取り組んだ、ターニングポイントとなった戯曲への再挑戦でもあった。

「僕が22歳の時に書いた過去作品ですが、『こういうこともありえるんだ』『こういう可能性もこの作品にはあったんだ』という発見があって、とても面白かったです。照明さんは僕と『同じ歳の娘がいる』とおっしゃってましたけど(笑)、いわば若造が書いた〈死〉や〈喪失〉を、いろんな年齢の人たちと見つめ直し深める作業は意義深かった。年齢でジャッジしない人たちと、とことん話せるということも嬉しかったですね。また、蜷川さんの演劇づくりのノウハウを持っている人たちが、蜷川さんとは全く違うつくり方の僕が出会うことによって、違うフェーズを現すかもしれない……という思いもあります」

藤田は今回のように、同劇場スタッフとつくる試みを継続的なプロジェクトとしてとらえ「一作品で出来ることではないので、時間を掛けてやってみよう」と、意欲を見せる。今年の7月には早速、埼玉県内在住・在学の中学生以上20歳以下の出演者により、ワークショップ公演『ハロースクール、バイバイ』を上演する予定だ。バレーボール部の試合、練習、合宿などで起こる出来事の断片を、幾度も繰り返す同作。福島県の高校生ともつুক্তことがある、藤田の代表作の一つだ。

「リフレインや、アングルを変えていく表現といった、マームとジブシーでつくり上げた表現が詰まった作品。また取り組めるのが楽しみです。実は一番体力的に疲れる公演なので厳しい稽古になるとは思いますし、まずはバレーボールの稽古が延々と続くと思います(笑)」

アーティストの新たな挑戦に参加してみたい、そして体力に自信のある若者は、ぜひ応募してみてください。

## 募集要項

### ワークショップ公演

### 『ハロースクール、バイバイ』

[作・演出] 藤田貴大

#### ◆ 出演者オーディションスケジュール

[第一次選考] 3月27日(月)・28日(火)

[第二次選考] 4月3日(月)

[第三次選考] 4月4日(火)

※オーディション会場は彩の国さいたま芸術劇場です。

#### ◆ 応募資格

・埼玉県内在住・在学の中学生以上20歳以下の方(7月30日現在)

・稽古から公演まですべて参加できる方。

※稽古は5月13日(土)から毎週土曜日と日曜日に行う予定です(7月22日からは毎日)。

※公演は7月27日(木)から30日(日)までを予定しています。

※稽古及び公演の会場は彩の国さいたま芸術劇場です。

#### ◆ 応募方法

メールで件名を「『ハロースクール、バイバイ』出演者オーディション」として、以下の内容を送信してください。

- ①名前(ふりがな)
- ②性別
- ③生年月日
- ④学校名(在学中の方)
- ⑤住所
- ⑥電話番号
- ⑦志望動機
- ⑧その他(特記事項があればお書きください)

※メール受信後48時間以内に受付完了メールをお送りします。下記の応募アドレスからのメールが受信できるように、ご自身のメールソフトの設定をお願いします。

※第一次選考当日に履歴書(形式自由。上記①~⑧は必ず明記)と写真(顔正面・全身)、保護者による同意書(未成年者のみ)をご提出ください。

※個人情報取り扱いについては、当財団ホームページでご確認ください。

※公演時、出演料はありません(交通費は実費支給します)。

#### ◆ 応募期間

2月1日(水)12:00~3月12日(日)23:59

#### ◆ 応募アドレス

hsb2017@saf.or.jp

#### ◆ お問い合わせ

彩の国さいたま芸術劇場 048-858-5500

(彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く)

<http://www.saf.or.jp>



『ハロースクール、バイバイ』(2010年初演)  
Photo © 飯田浩一

彩の国2017 年間ラインナップ

※公演は変更する場合がございます。予めご了承ください。

	2017年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月									
<b>PLAY</b>		<p>4/14(金)~16(日) 蛭川幸雄一周忌追悼公演 さいたまゴールド・シアター 『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』 (作:清水邦夫 演出:蛭川幸雄) ☎ 詳細はP.21</p> <p>4/29(土・祝) 彩の国さいたま寄席 四季彩亭~柳亭市馬 と若手落語家競演会 ☎ 詳細はP.21</p>	<p>4/27(木)~30(日) 5/11(木)~14(日) GEKISHA NINAGAWA STUDIO 『2017・待つ』 ☎ 詳細はP.21</p>	<p>7月 蛭川幸雄一周忌追悼公演 『NINAGAWA・マクベス』 (演出:蛭川幸雄 作:W.シェイクスピア) 出演:市村正親、田中裕子 ほか</p> <p>7月 マームとジブシー 『10周年記念公演(仮)』</p> <p>7月 藤田貴大ワークショップ公演 『ハロースクール、バイバイ』 (作・演出:藤田貴大) ☎ 詳細はP.8-9</p> <p>7月 彩の国さいたま寄席 四季彩亭</p>	<p>8月 児童劇</p>	<p>9月 さいたまゴールド・シアター 第7回公演 新作 (作・演出:岩松了)</p>	<p>10月 マームとジブシー 『IL MIO TEMPO』 (作・演出:藤田貴大)</p> <p>10月 彩の国さいたま寄席 四季彩亭</p>	<p>12月 彩の国シェイクスピア・シリーズ第33弾 『アテネのタイモン』 (作:W.シェイクスピア 翻訳:松岡和子 演出・出演:吉田鋼太郎)</p>	<p>1月 劇場体験ツアー</p> <p>1月 彩の国さいたま寄席 四季彩亭</p>	 <p>Photo©加藤英弘</p>												
<b>DANCE</b>	<p>3/16(木)~19(日) ピナ・バウシュ ヴァンパタール舞踊団 『カーネーション-NELKEN』 ☎ 詳細はP.12-13</p>	<p>5/20(土)・21(日) コンドルズ埼玉公演 2017新作 『17's Map』 ☎ 詳細はP.21</p>	<p>6/2(金)~4(日) Noism1 DOUBLE BILL 金森 稯+山田勇気 演出振付新作</p>	<p>10/28(土)・29(日) バットシェバ舞踊団/ オハッド・ナハリン 『LAST WORK -ラスト・ワーク』</p>	<p>12/2(土)・3(日) 川口隆夫ソロ 『大野一雄について』</p> <p>1/20(土)・21(日) ジェローム・ベル 『Gala-ガラ』</p>	<p>2月 Noism1 『NINA-物質化する生け簀』 (ver.black) (予定)</p>	 <p>Photo©Oliver Look</p>	 <p>コンドルズ埼玉公演2016『LOVE ME TenDER』 Photo©HARU</p>	 <p>Noism劇的舞踊vol.3『ラ・バヤデーラー-幻の国』より Photo©福山紀信</p>	 <p>Photo©Gadi Dagon</p>	 <p>Photo©Bozzo</p>	 <p>©Photographer Bernhard Müller</p>	 <p>Photo©福山紀信</p>									
<b>MUSIC</b>	<p>3/11(土) 『次代へ伝えたい名曲』 第9回 竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル ☎ 詳細はP.14-15</p> <p>3/25(土) アンドラーシュ・シフ ピアノ・リサイタル ☎ 詳細はP.16-17</p>	<p>4/15(土) パツハ・コレギウム・ジャパン J. S. バッハ 《マタイ受難曲》 ☎ 詳細はP.22</p>	<p>5/13(土) 『次代へ伝えたい名曲』 第10回 山崎伸子 チェロ・リサイタル ☎ 詳細はP.22</p>	<p>6/10(土) ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール! Vol.7 上原彩子 ピアノ・リサイタル ☎ 詳細はP.22</p>	<p>8/26(土) ピアノデュオ ドウオール デュオ・セミナー 修了コンサート ※セミナーは8/23~8/26開催</p> <p>8/27(日) 大塚直哉 レクチャー・コンサート ポジティブ・オルガン in アンサンブル</p>	<p>9/16(土) 『次代へ伝えたい名曲』 第11回 吉野直子 ハーブ・リサイタル</p> <p>9/30(土) アンサンブル・ ウィーン=ベルリン</p>	<p>11/11(土) ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.32 ケイト・リウ ピアノ・リサイタル ☎ 詳細はP.22</p> <p>11/19(日) レオニダス・カヴァコス ヴァイオリン・リサイタル</p>	<p>12/17(日) 『次代へ伝えたい名曲』 第12回 工藤重典 フルート・リサイタル</p>	<p>1/27(土) ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.33 パヴェル・コレニコフ ピアノ・リサイタル ☎ 詳細はP.22</p>	<p>3/21(水・祝) マレイ・ペライア ピアノ・リサイタル</p>	 <p>Photo©Nadia F. Romani</p>	 <p>Photo©Tetsuro Takai</p>	 <p>Photo©Marco Borggreve</p>	 <p>Photo©Akira Muto</p>		 <p>Photo©R. Hotta</p>	 <p>Photo©Akira Muto</p>	 <p>Photo©Marco Borggreve</p>		 <p>Photo©土居政則</p>	 <p>Photo©Colin Way</p>	 <p>Photo©Felix Broede</p>
	<p>光の庭プロムナードコンサート</p>	<p>4/22(土) 第91回 青田絹江(オルガン)</p>	<p>5/20(土) 第92回 ばらまつりスペシャル 小島弥生(オルガン)&amp; 天野寿彦(ヴァイオリン)</p>	<p>7/1(土) 第93回 菅 哲也(オルガン)&amp; 及川 豊(テノール)</p>	<p>8/5(土) 第94回 夏休みスペシャル 中田恵子(オルガン)&amp; 石橋輝樹(フルート)</p>	<p>10/21(土) 第95回 大木麻理(オルガン)&amp; 亀井 優(オルガン)</p>	<p>12/23(土・祝) 第96回 トワイライト・スペシャル 富田真希(オルガン)&amp; 神代 修(トランペット)</p>	<p>1/20(土) 第97回 大塚直哉(オルガン)&amp; 尾崎温子(オーボエ)</p>	<p>3/17(土) 第98回 石丸由佳(オルガン)&amp; 田野村 聡(尺八)</p>													
<b>埼玉会館・ 他会場</b>	<p>4/1(土) 大谷康子&amp; 東京交響楽団室内合奏団 アフタヌーン・コンサート ☎ 詳細はP.3-5</p> <p>4/16(日) 万作・萬斎の世界 ☎ 詳細はP.3-5</p>	<p>6/20(火) 埼玉会館ランチタイム・ コンサート 第31回 NHK交響楽団メンバー による木管三重奏 「トリオ・サンクアンシュ」 ☎ 詳細はP.3-5</p>	<p>7/29(土) 埼玉会館ファミリー・クラシック 夏休みオーケストラ! ☎ 参照P.3-5</p> <p>7/28(金) 松竹大歌舞伎 中村橋之助改め 八代目中村芝翫名披露 会場:熊谷文化創造館 さくらめいと 太陽のホール 出演:中村橋之助改め 八代目中村芝翫、 中村梅五 ほか</p>	<p>9/22(金) 埼玉会館ランチタイム・ コンサート 第32回 ウェールズ弦楽四重奏団</p>	<p>10/7(土) NHK交響楽団 リオ・クオクマン(指揮) 小曾根 真(ピアノ) ☎ 参照P.3-5</p>	<p>11/11(木) 埼玉会館ランチタイム・ コンサート 第33回 ニューイヤーズ・スペシャル 日本音楽集団</p>	<p>3/6(火) 埼玉会館ランチタイム・ コンサート 第34回 金管五重奏団 Buzz Five</p>	 <p>photo©尾形正茂</p>	 <p>2015年公演 Photo©加藤英弘</p>	 <p>©松竹</p>	 <p>Photo©大杉幸平</p>											

私は、1986年、オランダ国立バレエ団からピナのカンパニーへ移ってきました。そのきっかけとなったのは、ピナがアムステルダムで初演した『ワルツ』(1982年)でした。そのとき、リハーサルの様子や公演を観て強い衝撃を受け、その後ヴッパタールへ通い、『貞女伝説』『アリア』などを観てピナのカンパニーに加わりたと思ったのです。あれから今年で30年になります。

カンパニーに加わったときは、ちょうど初めての都市との提携作品『ヴィクトール』(ローマ・アルジェンティーナ劇場などとの共同制作/1986年)に取りかかるころで、間もなくそのリハーサルが始まり、その後、ローマへ行ききました。たとえば、『ヴィクトール』の茹でたハウレンソウを両手で絞るシーンは、私がローマでみた光景から生まれたものです。ま

たその年には、再演が決まった『カーネーション』のリハーサルもありました。ピナのリハーサルは、トゥール・ヴァン・シャイク、ルディ・ファン・ダンツィヒ、ハンス・ファン・マーネンのようなモダン・バレエの振付家の作品を踊っていた私にとっては、まったく新しい世界でした。ピナの質問、『カーネーション』でしたら、「なぜダンサーになったのか」とか「愛について」などの質問は、彼女からの「贈り物」、私の想像力をかき立ててくれる「贈り物」です。ダンサーが自分自身の想像力を働かせることができる、つまり、ピナがダンサーとともに時間をかけて質問とその答えから作品をつくっていくことは、彼女がダンサーを尊重し、私たちに敬意をはらっていると感じていました。私たちの答えの99%は、ピナが探しているものではないのでお払い

箱になりましたが、それでも、そのプロセスを通じてピナが私たちがじっと見ている、私たちに耳を傾けていること自体がポジティブなことなのです。このいわばピナの魂や思考とコミュニケーションしているという実感は、新しい体験でしたし、とても充実したものでした。

『カーネーション』には、人間のネガティブな側面が映し出されています。暴力、威嚇、命令、強要。しかし、一方では、愛や希望など人間のポジティブな特性も含まれています。ガーシュインの《私の愛するひと》が流れる後半の手話のシーンでは、その前に立って、続く私のシーンを待ちながら、メロディーや歌詞を受け止めているそのときそのときの自分自身が存在します。それに続く私の《ネルケン・ライン》(春夏秋冬のダンス)のシーンでは、「もうすぐ、また、

春がきます。草が芽生え……」というように、私は、自然からの詩的なメッセージを観客に伝えているような気がしています。このメッセージは、踏みつけられたカーネーションにも向けられているのかもしれませんが。

シューベルトの《死と乙女》のシーンはとてもパワフルです。椅子を掲げながら、全速で走らなければなりません。ピナは、このシーンについていつも「切迫」という言葉を使っていました。それは、最後の呼

吸、死を前にした最後の望み、何かつかむ、何かを感じる最後のチャンスなのかもしれません。私たちは客席に向かって走っていった愛について叫びます。また、最初は傷つけないようにしていたカーネーションも、このシーンになるころには、踏まれて、反対に、身体に突き刺さってくるようになります。このシーンは、そうした一種の極限状態で人間の特質を示しているのかも知れません。

ピナについて思い出すとき、一番思い出

されるのは彼女の視線です。とくに、稽古場のリヒトブルクでリハーサルをしているときの彼女の視線です。

私たちダンサーは黙々とリハーサルの準備をしていて、ピナを見ることはそんなにありませんでしたが、ふと、彼女に視線を向けると、ピナがこちらを見ていることがあります。それは、とても優しく、静かで、強い。うまく言えませんが、どこか「共謀者」のような視線でもありました。

Photo©Ursula Kaufmann



ジュリー・アン・スタンザック  
Julie Anne Stanzak

アメリカでバレエと演劇を学び、シカゴ・リック・オペラ・バレエ(1977-1979)、オランダ国立バレエ団(1979-1986)を経て、1986年、ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団に加わり現在に至る。1990年から、ヨーロッパやアメリカで様々なカンパニーで振付をつとめる他、障がい者のカンパニーで制作や振付を続けている。日本では、大野一雄フェスティバル2010に参加。2005年よりスタジオ アーキタンツでのプロジェクトが進行中。



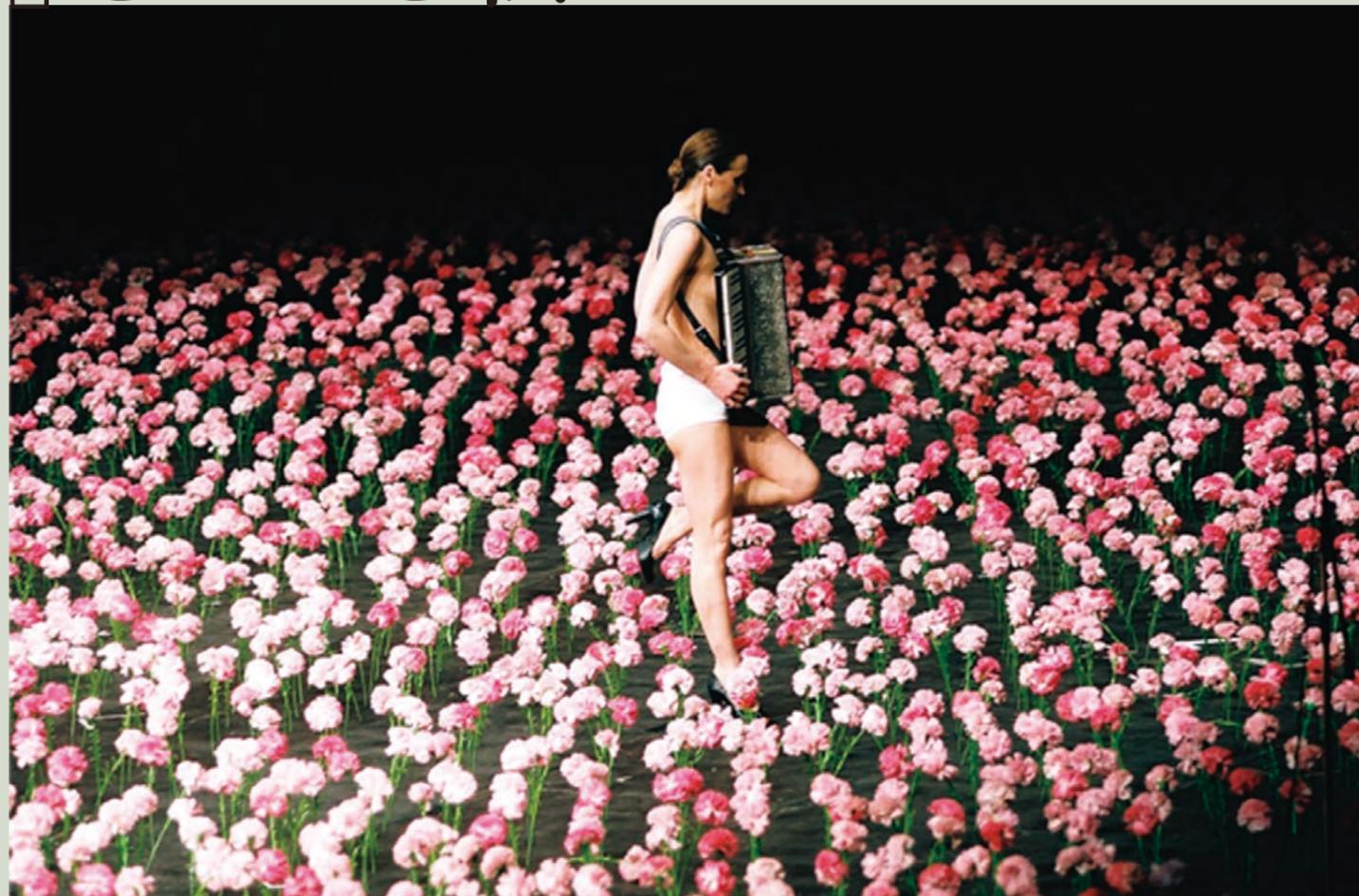
# 『カーネーション』とピナと私

## ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団 『カーネーション-NELKEN』

1986年から現在まで、ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団で踊り続けているジュリー・アン・スタンザック。約30年間、主力ダンサーとして活躍するジュリーに『カーネーション-NELKEN』の創作秘話を教えてもらった。貴重なエピソードの数々からは、ピナとダンサーたちによる、豊かなクリエイションの様子が透ける。いまだ作品に息づく、ピナの魂を目撃しよう。

文 ● ジュリー・アン・スタンザック (ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団 ダンサー)

訳 ● 副島博彦 (立教大学教授)



Photo©Ullrich Weiss, Copyright Pina Bausch Foundation

### ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団 Tanztheater Wuppertal Pina Bausch

1973年、ドイツの工業都市にあるヴッパタール・バレエ団の芸術監督にピナ・バウシュが就任、ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団と改称。ダンスと演劇が共生する「タンツテアター」による斬新かつ衝撃的な話題作を次々に発表し、世界の舞台芸術界に多大な影響をあたえた。2009年、ピナは惜しくも逝去するが、その遺志を継ぎ舞踊団はその後も精力的に公演を行っている。1986年以来たびたび来日公演を行い、彩の国さいたま芸術劇場には1996年に初登場、2004年には「天地 TENCHI」を共同製作し、2014年には代表作「KONTAKTHOF -コンタクトホーフ」も上演。今回、6度目の埼玉公演となる。

追加席発売日 一般・メンバーズ 2.5(日)

### ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団 『カーネーション-NELKEN』

3.16(木)・17(金)19:00、18(土)15:00、19(日)14:00  
彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

[演出・振付]ピナ・バウシュ [出演]ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団

チケット(税込)  
一般 S席11,000円 A席7,000円 B席5,000円  
U-25\* S席7,000円 A席5,000円 B席3,000円  
メンバーズ S席10,000円 A席6,300円 B席4,500円

※全日程予定枚数終了していましたが、追加席の販売をいたします。  
SAFチケットセンターのみのお取り扱いとなります。(1人2枚まで)  
※追加席は舞台の一部が見えにくいお席を含みます。  
※演出の都合により、開演時間に遅れますとお席へのご案内ができない場合がございます。  
※U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画  
「次代へ伝えたい名曲」第9回

# 竹澤恭子

## 音楽家と名曲とのしあわせな出会い

現代日本を代表する実力あるベテランの音楽家たちが、  
「次代へ受け渡したい名曲」を選曲し、演奏する  
彩の国さいたま芸術劇場オリジナルのシリーズ「次代へ伝えたい名曲」。  
第9回は、ヴァイオリニスト竹澤恭子が登場する。  
国際的に活躍する竹澤が選んだプログラムは、  
ヴァイオリンとピアノの競演を堪能できる“知られざる名曲”。  
共演のピアニスト児玉桃と共に挑む、刺激的なりサイタルだ。

文●有田 栄 (音楽学)

竹澤恭子 ヴァイオリン  
Kyoko Takezawa

1986年インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで圧倒的な優勝、以来国際的スターダムを昇り続ける。これまで、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、ロンドン響等世界の主要オーケストラと共演。アスペン、ルツェルンといった世界的な音楽祭にも出演を重ね、ロン＝ティボーなど国際コンクールの審査員も数多く務める。



児玉 桃 ピアノ  
Momo Kodama

幼少の頃よりヨーロッパで育ち、パリ国立高等音楽院に学ぶ。1991年、ミュンヘン国際コンクールに最年少で最高位に輝く。その後、ケント・ナガノ指揮ベルリン・フィル、小澤征爾指揮ボストン響など、世界のトップ・オーケストラと共演。ソロ、室内楽においても世界の主要国際音楽祭などで活躍。芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

Photo©Marco Borggreve

### 「良き音楽」との出会いを求めて

「良き友」との出会いと、「良き音楽」との出会いは良く似ている。特別な意識もなくずっと一緒に居たけれど、ふと気づいたらもはや傍に居ないことなど考えられないくらい、人生の一部になっているヤツ。かと思えば、ずっと苦手だと思っていたのに、いつの間にか余人には分からない魅力を理解し合い、腐れ縁になっているヤツ。けれども人生侮れないのは、そこに存在していることすら気づかなかったようなヤツが、ある日突然目の前に現れて、人生の風景を一変させてしまうことがあることだ。そんな音楽や音楽家との出会いを、人は一生の間に何度経験するだろうか。「良心ある本物の音楽は、探知機を使ってでも探し出せ」と言ったのは、たしかロストロポーヴィチだったか。

竹澤恭子は、その出会いを求めて、「良き音楽」の呼び声につねに耳を澄ませている音楽家だ。「名曲との出会いには様々な形があると思いますが、『知られざる名曲』は、この世の中に存在する膨大な作品のレパートリーの中にひっそりと眠っていて、眠りを解いてくれる魔法使いを今か今かと待っているようなものなのでは。この魔法使いとなる演奏家次第で、その作品の魅力が息を吹き返すことができるか否かが決まってしまう。まさに責任重大です」。

### 「次代へ伝えたい名曲」は鮮烈な出会いをした名曲

竹澤が今回選んだ作品は、いずれも彼女自身が「心に残る」出会いを経験した曲なのだという。「私にとって、それぞれの作品との出会いには鮮烈な印象があり、感性にたくさんの刺激を与えてくれたものばかりです」。

フランスの作曲家フランシス・ブーランク(1899～1963)のソナタは、天才と言

われながらも夭折したヴァイオリニスト、ジネット・ヌヴェーの依頼で書かれた曲。スペインの詩人ガルシア・ロルカの思い出に捧げられている。画家のダリとも親交が深かったことで知られるロルカは、死の影と情熱を秘めた言葉を紡ぎ、同時代の若者たちの魂を激しく揺さぶったが、スペイン内戦時代にファシストに捕らえられ、銃殺された。ロルカの墓に植えられた3本のオリーブの樹を彷彿させる3つの楽章には、何物かに駆り立てられるような焦燥と、まばゆいほどの命の煌き、そして内に秘めた炎のような激しい渴望が、混然となって渦巻いている。それが、突然の銃声によって断ち切られる衝撃……。ロルカの死に、芸術家達たちは何を感じたのか。若き日にこそ人が出会うべき音楽のひとつだ。

一方、ベルギー生まれのギョーム・ルクー(1870～94)のソナタは、ヴァイオリンへの愛が溢れるような、情感豊かな音楽だ。ルクーは、かのセザール・フランクの優秀な弟子。「ヴァイオリンを最も美しく響かせ歌わせるといふ、彼の理想とする音への感性が伝わって来るような魅力的な作品」と竹澤は言う。

同時代の音楽こそ、本当に共感できる作品との出会いのチャンスに溢れている。スイスとフランスの国籍を持つリシャール・デュビュニオン(1968～)は、竹澤の友人でもあり、彼女が最も注目する作曲家の一人。小品ながら、繊細な色彩感にあふれる2曲を紹介する。

そして、ハンガリーのバルトーク・ベラ(1881～1945)のソナタ。音楽に生き生きとした命を与える「何か」との出会いを求めて、文字通り地上を歩き回ったバルトークの音楽には、大地に蠢くモノたちの生々しい息遣いが溢れている。豊かな音楽的アイディアは、100年近く経った今でも全く古ぼけず、エキサイティングだ。竹澤いわく「私にとってバルトークは、音楽人

生の中で大きな刺激を与えてくれた大切な作曲家の一人。彼の音楽のエネルギー、大地を揺るがせるような力強い生命力が私の体に共鳴し、溢れんばかりのパワーを生みだしてくれます。表現意欲をかき立てられる、取り組みがいのある作品です」。

### ピアニスト児玉桃と共に発見する新たな音との出会い

とりわけこのバルトークは、共演者の児玉桃からの強いリクエストもあって、曲目に入れたのだとか。二人は、2015年のサントリーホール「チェンバーミュージック・ガーデン 室内楽アカデミーゲストコンサート」で意気投合。ドゥオを組むようになった。コンサートに先立つワークショップに、二人は講師としても参加し、若手演奏家たちの弦楽四重奏やピアノ三重奏、ピアノ四重奏を指導した。表現の幅を広げる技術から曲の解釈まで、自ら弾いてみせながらの熱のこもった指導ぶりだったという。二人にとって、同じ音楽の道を歩む後輩たちに教えること、ともに音楽に取り組むことは、「よく知る音楽の新しい魅力」を発見することでもあったようだ。

「共演してくださる児玉桃さんは繊細な耳と素晴らしい音楽的センスを持つ素敵なアーティスト。欲張ってチャレンジングなプログラムにしました」と竹澤が言えば、児玉も「今回のプログラムでは、ルクーやブーランクのように、音楽史を振り返る作曲家と、バルトークのように、未来に目を向けている作曲家がならんでいることが、興味深いです。それぞれの作品でヴァイオリンとピアノの役割が違う。恭子さんと演奏することで、たくさんの発見があると思います！」と期待を膨らませる。互いを触発し合う音楽家たちにとってもまた、「知られざる名曲」との出会いは、自分自身の中の「新たな音」との出会いの時だ。

チケット発売中

彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画「次代へ伝えたい名曲」第9回  
竹澤恭子ヴァイオリン・リサイタル

3.11(土)開演14:00 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[出演] 竹澤恭子(ヴァイオリン)、児玉 桃(ピアノ)

[曲目] プーランク: ヴァイオリン・ソナタ ルクー: ヴァイオリン・ソナタ長調  
デュビュニオン: 眠りの神 ヒュプノス、恍惚のひと時 バルトーク: ヴァイオリン・ソナタ第1番

チケット(税込) 一般 正面席4,000円 バルコニー席3,000円  
U-25\*(バルコニー席対象)1,500円/メンバーズ 正面席3,600円

\*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。



Photo©Tetsuro Takai

# アンドラーシュ・シフ

## バランスとこだわりの極み

現代最高のピアニストのひとり、アンドラーシュ・シフが彩の国に初登場！  
待望のリサイタルのプログラムは、  
彼が近年取り組む「最後のソナタ」プロジェクトのひとつを披露する。  
楽器と選曲にこだわるシフが  
ウィーン古典派の4つのソナタを弾き終えたとき、  
私たちは何を見るのだろうか——

文●後藤菜穂子 (音楽ライター)

### 両面を兼ね備えたバランスと 飽くなき探求心

アンドラーシュ・シフほど均整のとれたピアニストはほかにいるだろうか。彼の演奏には過剰なところも過小なところもない。知性と感情のバランス、徹底した楽譜の読み込みと詩的な即興性、そして音楽に没入しすぎず、かといって冷静すぎない作品との距離感、真面目さの内にひそむユーモアと風刺のセンス。シフというピアニストはこのようにあらゆる面でバランスがとれており、それこそが彼の織りなす音楽の核にある。その演奏は聴く側の知的好奇心と情緒の双方に語りかけるものであり、深い満足感を与えてくれる。

シフはこだわりの強いピアニストでもある。たとえば使う楽器について、レパートリーやプログラミングについて、さらに

は曲の様式感にもこだわってきた。彼はとりわけバッハの大家として知られるが、その磨き抜かれた音色やタッチ、和声感、フレーズング、アーティキュレーションを通してバッハの様式感を見事に浮かび上がらせる手腕には感嘆しかない。

### ウィーン古典派には ベーゼンドルファー ピアノへのこだわり

彼の使用楽器へのこだわりについてはよく知られている。これまでひとつのリサイタルでスタインウェイとベーゼンドルファーのグランドピアノを2台置いて、曲によって弾き分けたこともあったし(特にシューベルトを弾くときはベーゼンドルファーにこだわっている)、またスタインウェイと19世紀のプレイエル社製のピアノを2台置いて、前者でバッハとモーツァ

ルト、後者でショパンと弾き分けたこともあった。さらには、1921年製のベヒシュタインのグランドピアノ(バックハウスが弾いていた楽器)を弾くこともある。

また、以前はフォルテピアノなどの古楽器を好んでいなかったが、最近では考えを改め、彼自身が所有しているフランツ・ブロードマンのフォルテピアノ(1820年のウィーン製)でシューベルトの作品やベートーヴェンの《ディアバリ変奏曲》を録音しているほか、シューマンのピアノ協奏曲などもピリオド楽器オーケストラとフォルテピアノで弾いている。このように彼のこだわりが不変ではないところにも、ピアニストとしてのたゆまぬ探求心を感じる。

今回、彩の国さいたま芸術劇場音楽ホールにおけるシフの待望の初リサイタルでは、最近彼がウィーン古典派の音楽を弾くときに好んでいるベーゼンドルファーの最新型280VCを使用する予定だという。この楽器についてシフは、「歌うことのできる楽器であり、高音域、中音域、低音域とそれぞれ独自の音色を持っているのが特色です。ウィーンの作曲家たちはこうした音域による音色の違いを念頭に置いて作曲したのです」と語っている。

### 4人の音楽性を浮き彫りにする 「最後から2番目のソナタ」集

さて、本リサイタルのテーマは、ウィーン古典派の4人の大作曲家による「最後から2番目のソナタ」というもの。すなわち、ハイドンのピアノ・ソナタ 二長調 Hob. XVI: 51、モーツァルトのピアノ・ソナタ第17(16)番 変イ長調、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第31番 変イ長調、シューベルトのピアノ・ソナタ第20番 イ長調 D 959という組み合わせである。これらは

休憩なしで奏される。

シフは2年ほど前より、この4人の作曲家の最後の3つのピアノ・ソナタに焦点を当てた3回シリーズのプロジェクトを欧米各地で展開してきたが、3月の来日公演ではそのうち「最後から2番目のソナタ」(彩の国さいたま芸術劇場 他)と「最後のソナタ」(神奈川県立音楽堂 他)を取り上げる。

これまでバッハの鍵盤作品全曲やベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲、シューベルトのピアノ作品全曲など、一人の作曲家の創作を順を追って取り上げることが多かったシフだが、このプロジェクトは「最後のソナタ」というキーワードで複数の作曲家たちの横のつながりに焦点を当てるものだ。彼自身、このプログラムによって「この4人の作曲家の関係や類似点、相違点を浮き彫りにしたい」と話す。

それと同時にこれは各作曲家が、ソナタ形式という当時支配的であった楽曲形式とどう取り組み、最終的にどのような境地に達したのかについて振り返る企画でもある。「ソナタ形式は、西洋の芸術音楽における最も偉大な“発明”のひとつであり、その音楽的な可能性は無限である。ソナタ形式を先例のない高みへと到達させたのが、ウィーン古典派の4人の巨匠たちだった。ソナタ形式史上、これに肩を並べる——ましてやこれをしのぐ——偉業はいまだなされていない」とシフは力説する。

シフはなぜこれほどソナタ形式にこだわりを持つのだろうか？ それはおそらく冒頭でも述べたように、シフ自身がきわめて均整のとれた人間であり、フーガやソナタ形式における秩序をこよなく愛するからではないかと思う。その意味において、これぞシフの演奏の醍醐味を味わえる最高のプログラムであると言ってよいだろう。



Photo©Nadia F. Romanini

### アンドラーシュ・シフ(ピアノ) András Schiff

現代最高の鍵盤奏者のひとりで、1953年ブダペスト生。活動の大半はJ. S. バッハ、ハイデン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、シューマン、バルトークらの鍵盤作品によるリサイタルや全曲演奏会である。ヨーロッパ室内管やフィルハーモニア管の弾き振りも多く、1999年には自身の室内楽オーケストラ、カペラ・アンドレア・バルカを創設。録音も膨大で、ECMレーベルからの最新盤は、2015年にリリースされたシューベルトの後期ピアノ作品集(フォルテピアノで演奏)。様々な勲章など受賞も多く、2014年にはナイト爵位を授与された。



Photo©Yutaka Suzuki

予定枚数終了

### アンドラーシュ・シフ ピアノ・リサイタル ウィーン古典派4人の巨匠たちの最後のソナタ集

3.25(土)開演15:00 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[曲目] モーツァルト:ピアノ・ソナタ第17(16)番 変イ長調 KV 570  
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第31番 変イ長調 作品110  
ハイデン:ピアノ・ソナタ 二長調 Hob. XVI:51  
シューベルト:ピアノ・ソナタ第20番 イ長調 D 959

※本公演には休憩がありません。予めご了承ください。  
※全ての席種にて予定枚数終了いたしました。

# Review

レビュー

## DANCE

フィリップ・ドゥクフレ カンパニー-DCA  
『CONTACT-コンタクト』  
10.28(金)~30(日) 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール



ゲーテの戯曲『ファウスト』を大胆に脚色した、フィリップ・ドゥクフレの新作が来日。生演奏の音楽、サーカス、万華鏡のような映像、サイレント映画を彷彿とさせる美術、数々の名作ミュージカル……と、色とりどりの要素が交錯する摩訶不思議なダンス世界は、次から次に豊かなイメージが押し寄せ、まばたきするのも惜しいほど！ 実はピナ・バウシュ『コンタクトホーフ』へのオマージュも織り込まれた同作。一目でそれだと分かるピナ的な動きや場面も、ドゥクフレの味付けが加わると、ユーモラスで可愛い。歌い、踊り、演奏までこなす個性的な出演者たちのチャームも忘れがたい。

## MUSIC

NHK交響楽団 12人のチェリストたち  
11.5(土) 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール



日本のトップ・オーケストラ、NHK交響楽団のチェロ奏者12人による極上のアンサンブル。クレンゲル《賛歌》では、4人のグループが順に演奏する甘美な音が、最後は12人全員の重厚な響きになり、名手揃いのチェロ十二重奏の表現の広さと深さに圧倒された。その後の作品での2人、4人、6人の重奏は、チェロの多彩な響きが魅力的。12人全員によるビートルズ作品では、旋律を受け持つ奏者が曲ごとに変わり、奏者の個性も楽しめた。5曲からなる《日本の歌》は秋にぴったりの選曲で、チェロの音色は日本情緒によく似合う、としみじみしたあと、アンコール《アメイジング・グレイス》で目頭が熱くなる演奏会だった。

## MUSIC

バッハ・コレギウム・ジャパン  
J. S. バッハ《ミサ曲 口短調》  
11.12(土) 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール



バッハ・コレギウム・ジャパン (BCJ) が彩の国でJ.S. バッハ《ミサ曲 口短調》を演奏するのは15年ぶり。最初の〈クリエ〉からBCJの解釈がくっきりあらわれ、輝かしい第1部の終曲、作品の中心の神秘的な〈十字架につけられ〉、歓喜にみちた〈サントゥス〉、神々しい最終曲〈われらに平安を与えたまえ〉など、BCJならではの澄んだ響きと静と動の対比に満ちた音楽が展開した。華やかなトランペット、甘美なオーボエ・ダモーレ、崇高なホルン・ダ・カッチャ、抒情豊かなトラヴェルソと独奏楽器も味わい深く、独唱と合唱の歌声が心を打つ。600席の空間だからこそ味わえる響きに敬虔な思いが沸き起こる演奏会だった。

## MUSIC

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.30  
ニコライ・ホジャイノフ ピアノ・リサイタル  
11.19(土) 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール



ロシアの俊英ニコライ・ホジャイノフによる「ピアノ・エトワール・シリーズ」。ショパンのポロネーズとワルツは、余計な力の抜けたさりげなさで即興感のある演奏で、くつろいだ空気を作り出していたのが印象的。ストラヴィンスキー《ペトルーシュカからの3楽章》は、強烈な打鍵にもかかわらず繊細に美しく響かせ、バレエの場面がありありと目に浮かぶドラマ性豊かな演奏だった。ロマン派的情熱に満ちた圧巻のシューマンのあと、アンコールはなんと7曲！ リストの技巧的な作品や、オペラが好きなホジャイノフ自身の編曲作品を披露したりと、最後までホジャイノフ・ワールドを存分に楽しませてくれた。

## MUSIC

彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画「次代へ伝えたい名曲」第8回  
藤原真理 チェロ・リサイタル  
12.10(土) 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール



日本チェロ界を代表する演奏家、藤原真理による「次代へ伝えたい名曲」は、曲ごとにトークが入り、アットホームな雰囲気のリサイタルに。1曲目のベートーヴェンの変奏曲は、変奏ごとの表情の変化が豊かで、たとえ主題がモーツァルト《魔笛》でもベートーヴェンならではの響きを魅力的に聴かせた。チェロ・ソナタ第1番は、ピアニスト倉戸テルとの対話も味わい深く、若きベートーヴェンの革新性をみずみずしく表現。藤原が初演者である林光のチェロ・ソナタ《十月の歌》は、厳しい表情の曲ながら藤原の音は歌心に満ち、哀愁たどよう響きが印象的。最後はブルッフ《ホル・ニドライ》の祈りの歌に心温かくなった。

バッハ・コレギウム・ジャパン  
J. S. バッハ《ミサ曲 口短調》公演関連企画  
鈴木雅明による作品解説レクチャー  
11.5(土) 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

演奏会に先駆け、バッハ・コレギウム・ジャパン音楽監督鈴木雅明によるJ.S. バッハ《ミサ曲 口短調》のレクチャーを開催。バッハの最高傑作であると同時に謎に包まれた作品をより深く知りたいと願う熱心な音楽ファンが大勢集まった。カトリックとルター派のミサ曲の形式の違いからレクチャーは始まり、《ミサ曲 口短調》の構成の特徴とそこに込められた意味を解説。過去の自作を多く引用していることや、楽譜の中に秘められた十字架の音型、シンメトリーの構造など、興味深い話の連続で、あっという間の1時間半だった。バッハが作品に仕組んだ信仰心の一端に触れ、翌週の演奏会がより楽しみになった。



# Event Calendar イベントカレンダー 2017 1.15 - 3.31

PLAY DANCE MUSIC CINEMA

大ホール 小ホール 音楽ホール 映像ホール 情報プラザ = 彩の国さいたま芸術劇場

😊 お子様から楽しんでいただける公演です。  
光の庭プロムナード・コンサートには年齢制限はありません。

## PLAY

1.21(土)

### 彩の国さいたま寄席 四季彩亭 ～彩の国落語大賞受賞者の会 春風亭一之輔

小ホール 開演14:00 詳細はP.21

※本公演は予定枚数終了いたしました(当日券あり)。

1.26(木) - 29(日)

### さいたまゴールド・シアター 『Pro・cess2017』

彩の国さいたま芸術劇場 NINAGAWA STUDIO (大稽古場)  
1.26(木)開演18:30、27(金)～29(日)開演14:00

詳細はP.21

## DANCE

2.5(日)

### 埼玉県舞踊協会 『ダンスセッション2017』

大ホール 開演13:00/17:00 詳細はP.21

2.9(木) - 12(日)

### Noism1 近代童話劇シリーズvol.2 『マッチ売りの話』+ 『passacaglia』

小ホール 9(木)・10(金)開演19:30、  
11(土・祝)開演15:30/19:30、12(日)開演15:30

詳細はP.21

3.16(木) - 19(日)

### ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団 『カーネーション-NELKEN』

大ホール 16(木)・17(金)開演19:00、  
18(土)開演15:00、19(日)開演14:00

詳細はP.12-13

## MUSIC

1.21(土)

### ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.31 キット・アームストロング ピアノ・リサイタル

音楽ホール 開演15:00 詳細はP.21

1.28(土)

### 光の庭プロムナード・コンサート第90回 「冬」のぬくもり

情報プラザ 開演14:00 ※入場無料  
[出演]大塚直哉(オルガン)、大西律子(バロック・ヴァイオリン)  
[曲目]ヴィヴァルディ:協奏曲集「四季」より「冬」  
フレスコバルディ:パッサカリアに基づく100のバルティータ\*  
コレルリ:ヴァイオリン・ソナタ第4番 へ長調 作品5-4 ほか  
\*オルガンソロ

2.11(土・祝)

### 佐藤俊介の現在 Vol.3 20世紀初頭、花ひらく三重奏

音楽ホール 開演15:00 詳細はP.22

3.11(土)

### 彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画 「次代へ伝えたい名曲」第9回 竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル

音楽ホール 開演14:00 詳細はP.14-15

3.25(土)

### アンドラーシュ・シフ ピアノ・リサイタル

音楽ホール 開演15:00 詳細はP.16-17

※本公演は予定枚数終了いたしました。

●…彩の国さいたま芸術劇場 休館日

2017 1							2							3						
S	M	T	W	T	F	S	S	M	T	W	T	F	S	S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4				1	2	3	4			
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28					26	27	28	29	30	31	

【埼玉会館 改修工事のお知らせ】

2017年3月31日(金)まで、埼玉会館は改修工事のため休館いたします。

## CINEMA

### 彩の国シネマスタジオ

【全席自由・各回入替制・整理券制】

大人1,000円/学生500円 [入場時に学生証をご提示ください]

※料金は当日現金支払いのみ

※2月の「優秀映画鑑賞推進事業」は大人・学生とも1作品500円

1.19(木)～22(日) 映像ホール

### 『愛と哀しみのポレロ デジタル・リマスター版』

(1981年/フランス/185分)  
[監督・脚本]クロード・ルルーシュ  
[音楽]ミシェル・ルグラン、フランシス・レイ  
[振付]モリス・ベジャール  
[出演]ジョルジュ・ドゥン、ダニエル・オルブリフスキ ほか  
19(木)～22(日) 10:30/15:30



LES UNS ET LES AUTRES  
©1981 Les Films 13 - TF1 Films  
Productions. All Rights Reserved.

2.9(木)～12(日) 映像ホール

優秀映画鑑賞推進事業

A 『伊豆の踊子』(1974年/東宝映画・ホリプロ/82分)

[原作]川端康成 [主演]山口百恵

B 『野菊の墓』(1981年/東映・サンミュージック/91分)

[原作]伊藤左千夫 [主演]松田聖子

C 『時をかける少女』(1983年/角川春樹事務所/104分)

[原作]筒井康隆 [主演]原田知世

D 『ぼくらの七日間戦争』(1988年/角川春樹事務所/94分)

[原作]宗田 理 [主演]宮沢りえ

9(木) 10:30 A / 14:00 C \* ① / 18:00 D

10(金) 10:30 D / 14:00 B / 18:00 A

11(土・祝) 10:30 C \* ② / 14:00 A / 18:00 B

12(日) 10:30 B / 14:00 D / 18:00 C

\*①9日(木)14:00終了後、タイムスター宇多丸氏によるアフタートークあり

\*②11日(土・祝)10:30音声ガイドあり



『時をかける少女』

2.15(水)～19(日) 映像ホール

### 『裸足の季節』(2015年/フランス・トルコ・ドイツ/97分)

[監督]デニス・ガムゼ・エルギュヴェン

[出演]キュネシ・シエンソイ、ドアドウシル、トゥーバス・スングルオウル、

エリット・インジャン、イライダ・アクトアン ほか

15(水)～18(土) 10:30/14:00/18:00

19(日) 10:30/14:00



©2015 CG CINEMA VISTAMAR  
Filmproduktion UHLANDFILM  
Bam Film KINOLÖGY

3.23(木)～26(日) 映像ホール

### 『めぐりあう日』(2015年/フランス/104分)

[監督]ウニール・コント

[出演]セリーヌ・サレット、アンヌ・ブノワ、ルイ＝ドドゥ・ランガン、

フランソワーズ・ルブラン、エリクス・アギス ほか

23(木)～25(土) 10:30/14:00/18:00

26(日) 10:30/14:00



©2015 - GLORIA FILMS - PICTANOV

4.7(金) 埼玉会館小ホール

埼玉会館リニューアル・オープン記念事業

彩の国シネマスタジオ 『砂の器』

詳細はP.3-5

# Tickets チケット

PLAY DANCE MUSIC

大ホール 小ホール 音楽ホール 映像ホール 情報プラザ = 彩の国さいたま芸術劇場

\*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

## PLAY

予定枚数終了(当日券あり)

### 彩の国さいたま寄席 四季彩亭 ～彩の国落語大賞 受賞者の会 春風亭一之輔

1.21(土)14:00 小ホール

[出演]春風亭一之輔(彩の国落語大賞・2席)、  
三遊亭金馬(ゲスト)、春風亭正太郎  
チケット(税込) 全席指定 一般3,000円  
ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者)2,000円  
メンバーズ 2,700円

発売中

※残席僅少

### さいたまゴールド・シアター 『Pro・cess2017』

1.26(木)18:30、27(金)～29(日)14:00

彩の国さいたま芸術劇場 NINAGAWA STUDIO  
(大稽古場)

[構成]蛭川幸雄 [構成・演出]井上尊晶

[出演]さいたまゴールド・シアター ほか

チケット(税込) 全席自由(整理番号付) 2,000円

発売日 一般 1.21(土) メンバーズ 1.14(土)

### 彩の国さいたま寄席 四季彩亭 柳亭市馬と若手落語家競演会

4.29(土・祝)14:00 小ホール

[出演]柳亭市馬(ゲスト)、橋家文蔵、  
桂三木男、柳亭市楽、桂 宮治  
チケット(税込) 全席指定 一般3,000円  
ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者)2,000円  
メンバーズ 2,700円

発売日 一般 2.4(土) メンバーズ 1.28(土)

### 蛭川幸雄一周忌追悼公演 さいたまゴールド・シアター 『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』

4.14(金)19:00、15(土)・16(日)14:00 大ホール

[出演]さいたまゴールド・シアター、  
さいたまメクスト・シアター  
チケット(税込) 全席指定 一般4,000円  
メンバーズ 3,600円

発売日 一般 2.4(土) メンバーズ 1.28(土)

### 埼玉会館リニューアル・オープン記念事業 『万作・萬斎の世界』

詳細はP.3-5

発売日 一般・メンバーズ 2.18(土)

### GEKISHA NINAGAWA STUDIO 『2017・待つ』

4.27(木)～30(日)/5.11(木)～14(日)

4.27(木) 19:00 5.11(木) 19:00  
28(金) 19:00 12(金) 19:00  
29(土・祝) 14:00/19:00 13(土) 14:00/19:00  
30(日) 14:00 14(日) 14:00

彩の国さいたま芸術劇場 NINAGAWA STUDIO  
(大稽古場)

[主催] GEKISHA NINAGAWA STUDIO

[提携] 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

チケット(税込) 全席自由(整理番号付) 5,000円

## DANCE

発売中 ※SAFチケットセンターでのお取り扱いはございません。

### 埼玉県舞踊協会 『ダンスセッション2017』

2.5(日)13:00/17:00 大ホール

[演目] 瀬山亜津咲・ファビアン プリオヴィール振付作品:  
VENUS

篠原聖一振付作品: Channel

埼玉全国舞踊コンクール創作舞踊部門第一位作品

チケット(税込) 全席自由 前売5,000円 当日5,500円

[主催] 埼玉県舞踊協会 [提携] 彩の国さいたま芸術劇場

[チケットのご購入・お問合わせ]

埼玉県舞踊協会 TEL.048-882-7530 (月・木のみ)

MAIL.saitama-dance@blue.ocn.ne.jp

発売中

Noism1

近代童話劇シリーズvol.2

『マッチ売りの話』

+ 『passacaglia』

2.9(木)・10(金)19:30、11(土・祝)15:30/19:30

12(日)15:30 小ホール

[演出振付]金森 稜 [衣裳]中嶋佑一

[振付&出演]Noism1

チケット(税込) 全席指定 一般5,500円 U-25\*3,500円

[主催] 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

[共催] 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

追加席発売日 一般・メンバーズ 2.5(日)

### ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団 『カーネーション-NELKEN』

詳細はP.12-13

発売日 一般 2.18(土) メンバーズ 2.11(土・祝)

### コンドルズ 埼玉公演2017新作 『17's Map』

5.20(土)14:00/19:00、21(日)15:00 大ホール

[構成・映像・振付] 近藤良平 [出演] コンドルズ

チケット(税込) 一般 前売S席5,000円 A席3,500円

U-25\* 前売S席3,000円 A席2,000円

メンバーズ 前売S席4,500円 A席3,200円

\*当日券は各席種とも+500円

## MUSIC

発売中

### ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.31 キット・アームストロング ピアノ・リサイタル

1.21(土)15:00 音楽ホール

[曲目]  
C. P. E. バッハ: 自由な幻想曲 嬰へ短調 H.300/Wq.67  
アームストロング: 左手のための3つの印象  
スウェーリンク: わが青春はすでに過ぎ去り  
アームストロング: 細密画

J. S. バッハ: バルティータ第6番 ホ短調 BWV 830

チケット(税込)

一般 正面席3,500円 バルコニー席2,500円

U-25\*(バルコニー席対象)1,000円

メンバーズ 正面席3,200円

# Tickets チケット

## MUSIC

発売中

### 佐藤俊介の現在 Vol.3 20世紀初頭、花ひらく三重奏

2.11(土・祝)15:00 音楽ホール

[出演]佐藤俊介(ヴァイオリン)、  
ロレンツォ・コッポラ(クラリネット)、小菅 優(ピアノ)  
[曲目]  
ミヨー：ピアノ、ヴァイオリンとクラリネットのための組曲 作品157b  
ベルク：クラリネットとピアノのための4つの小品 作品5  
ハチャトゥリャン：ヴァイオリン、クラリネットとピアノのための三重奏曲ト短調  
ラヴェル：ヴァイオリン・ソナタ長調  
ストラヴィンスキー：組曲《兵士の物語》(三重奏版)  
チケット(税込) 全席指定  
一般 正面席4,500円 バルコニー席3,500円  
U-25\*(バルコニー席対象)1,500円  
メンバーズ 正面席4,100円

発売中

### 彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画 「次代へ伝えたい名曲」第9回 竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル

詳細はP.14-15

予定枚数終了

### アンドラーシュ・シフ ピアノ・リサイタル

詳細はP.16-17

発売中

### バッハ・コレギウム・ジャパン J. S. バッハ《マタイ受難曲》

4.15(土)16:00 音楽ホール

[出演]鈴木雅明(指揮)、  
ハンナ・モリゾン、松井亜希(ソプラノ)  
ロビン・ブレイズ、青木洋也(アルト)  
ベンヤミン・ブルンス(福音史家:テノール)  
櫻田 亮(テノール)  
クリスティアン・イムラー、加来 徹(バス)  
チケット(税込)  
一般 正面席9,000円 バルコニー席8,000円  
U-25\*(バルコニー席対象)3,000円  
メンバーズ 正面席8,100円  
※関連レクチャー開催(申込は締め切りました)

発売中

### 埼玉会館リニューアル・オープン記念事業 大谷康子&東京交響楽団室内合奏団 アフタヌーン・コンサート

詳細はP.3-5

発売中

### 彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画 「次代へ伝えたい名曲」第10回 山崎伸子 チェロ・リサイタル

5.13(土)14:00 音楽ホール

[出演]山崎伸子(チェロ)、加藤洋之(ピアノ)  
[曲目] ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第3番 イ長調 作品69  
ショパン：チェロ・ソナタト短調 作品65 ほか  
チケット(税込)  
一般 正面席4,000円 バルコニー席3,000円  
U-25\*(バルコニー席対象)1,500円  
メンバーズ 正面席3,600円

発売日 一般 1.28(土) メンバーズ 1.21(土)

オルガン・レクチャー(演奏付)  
ポジティブ・オルガンでたどる、むかしの鍵盤音楽  
の宝庫 その2～スウェーリンクを中心に～  
5.28(日)11:00  
彩の国さいたま芸術劇場 大練習室  
[出演]大塚直哉(オルガン・講師)  
チケット(税込) 全席自由 1,000円

発売日 一般 1.28(土) メンバーズ 1.21(土)

大塚直哉レクチャー・コンサート  
ポジティブ・オルガン in アンサンブル  
8.27(日)14:00 音楽ホール  
[出演]大塚直哉(オルガン・講師)、  
大西律子、荒木優子(ヴァイオリン) ほか  
チケット(税込) 全席自由 2,000円

30セット限定 オルガン・レクチャー セット券  
発売日 一般 1.28(土) メンバーズ 1.21(土)

◆オルガン・レクチャー(演奏付)  
ポジティブ・オルガンでたどる、むかしの鍵盤  
音楽の宝庫 その2～スウェーリンクを中心に～

◆大塚直哉レクチャー・コンサート  
ポジティブ・オルガン in アンサンブル  
チケット(税込) 全席自由 2,700円

[3公演セット券]発売日 一般 2.11(土・祝) メンバーズ 2.4(土)  
[アンコール!Vol.7 1回券]発売日 一般 3.4(土) メンバーズ 2.25(土)

### ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール! Vol.7 上原彩子 Vol.32 ケイト・リウ

### Vol.33 パヴェル・コレスニコフ

音楽ホール

[日時・曲目]  
【アンコール! Vol.7】6.10(土)15:00  
モーツァルト：幻想曲 二短調 KV 397 (385g)  
シューマン：幻想曲 ハ長調 作品17  
モーツァルト：幻想曲 ハ短調 KV 475  
モーツァルト：ソナタ第14番 ハ短調 KV 457  
リスト：ダンテを読んでー ソナタ風幻想曲

【Vol.32】11.11(土)15:00  
曲目調整中

【Vol.33】2018年1.27(土)15:00  
曲目調整中

チケット(税込)  
【3公演セット券】  
一般・メンバーズ 正面席 9,500円  
バルコニー席 8,000円  
U-25\*(バルコニー席対象)3,500円

【アンコール! Vol.7 1回券】  
一般 正面席4,000円 メンバーズ3,600円  
バルコニー席3,000円  
U-25\*(バルコニー席対象)1,500円

【Vols.32・33】各回  
一般 正面席3,500円 メンバーズ3,200円  
バルコニー席2,500円  
U-25\*(バルコニー席対象)1,000円

発売日 一般 2.26(日) メンバーズ 2.25(土)

埼玉会館リニューアル・オープン記念事業  
埼玉会館ランチタイム・コンサート第31回  
NHK交響楽団メンバーによる  
木管三重奏「トリオ・サンクアンシュ」  
詳細はP.3-5

発売日 一般 4.1(土) メンバーズ 3.25(土)

埼玉会館リニューアル・オープン記念事業  
埼玉会館ファミリー・クラシック  
夏休みオーケストランド!  
参照P.3-5

発売日 一般 4.15(土) メンバーズ 4.8(土)

埼玉会館リニューアル・オープン記念事業  
NHK交響楽団  
リオ・クオクマン(指揮) 小曾根 真(ピアノ)  
参照P.3-5

チケット購入方法について

## インターネット

**SAF** オンラインチケット  
埼玉県芸術文化振興財団  
オンラインチケット  
で、発売初日10:00から  
公演前日23:59まで  
受付いたします。

 [PC・携帯共通]  
http://www.ticket.ne.jp/saf/

メンバーズ 登録のご住所へ無料配送

一般 【クレジットカード決済】 ▶ コンビニ発券  
または【コンビニ支払い】  
※チケット代に加え、店頭発券手数料  
(チケット1枚につき120円)が必要です。

## 電話予約

チケットセンター 0570-064-939  
10:00～19:00(彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く)

※一部の携帯電話、PHS、IP電話からは受付できません。

メンバーズ 登録のご住所へ無料配送

一般 【クレジットカード決済】 ▶ コンビニ発券  
または【コンビニ支払い】

※チケット代に加え、店頭発券手数料(チケット1枚につき120円)が必要です。  
※コンビニ支払い後に宅配便での配送も承りますが、チケット代のはかに配送料  
(配送1件につき400円)が必要です。

## 窓口販売

彩の国さいたま芸術劇場窓口(10:00～19:00)で直接購入  
いただけます。電話予約したチケットの引取もできます。  
※休館日をお確かめの上、ご来場ください。

メンバーズ 【口座引落】

一般 【現金】または  
【クレジットカード決済】

その場で  
チケットを  
お渡します。  
※手数料は  
かかりません。

## INFORMATION



## 埼玉会館が、 第36回「有馬賞」を 受賞いたしました!

公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団が運営する埼玉会館が、このたび第36回「有馬賞」を受賞いたしました。「有馬賞」は、元NHK交響楽団副理事長で、日本の音楽界に多大な功績を残した有馬大五郎氏を記念して1981年に設けられたもの。今回は、これまでNHK交響楽団公演の継続的開催を通じて地域の音楽文化の向上やNHK交響楽団の演奏活動に対する理解促進に貢献したことが評価されての受賞となりました。授賞式は2016年11月4日(金)にNHK交響楽団演奏所で行われ、NHK交響楽団の今井 環理事長から、当財団理事長の竹内文則に賞状と目録が贈られました。埼玉会館は長期改修工事を終えて4月より再開し、10月7日(土)にはNHK交響楽団公演を予定しております。今後とも皆様のご支援をよろしく願い申し上げます。

埼玉会館で開催する財団主催公演につきましては、P.3-5及びP.10-11もあわせてご覧ください。



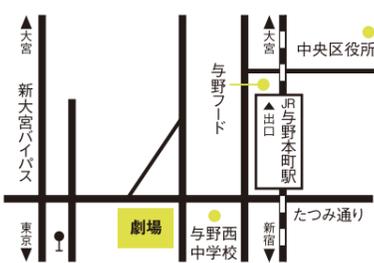
## 「みんなのオルガン講座」 基本コース第11期生 募集について

彩の国さいたま芸術劇場では、小型のパイプオルガン“ポジティブ・オルガン”が体験できる「みんなのオルガン講座」を開講しています。「基本コース(ソロ・クラス)」は、パイプオルガンの演奏基礎を学ぶコース。1年目の修了生のうち、希望者には2年目クラスを開講予定です。講師は、オルガン・チェンバロ・クラヴィコードのソリスト・通奏低音奏者として第一線で活躍中の大塚直哉と、ドイツで研鑽を積んで各地のコンクール入賞や音楽祭出演を果たした期待の若手オルガニスト、大木麻理。わかりやすく、丁寧な指導のもとパイプオルガンの奏法を学べます。ピアノなどの鍵盤楽器経験が3年程度以上あり、「オルガンを弾いてみたい」という方は奮ってご応募ください!

オーディション、レッスン、発表会の日程や詳しい募集要項の発表は2月上旬を予定しております。  
【お問合わせ】彩の国さいたま芸術劇場 事業部  
音楽担当 TEL.048-858-5506

## ACCESS

### 彩の国さいたま芸術劇場



〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1  
電話:048-858-5500(代) ファックス:048-858-5515  
●電車でのアクセス  
JR埼京線と野本町駅(西口)下車 徒歩7分  
●バスでのアクセス  
JR京浜東北線北浦和駅から西武バス大久保行き  
「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分

### 埼玉会館



〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4  
電話:048-829-2471(代) ファックス:048-829-2477  
●電車でのアクセス  
JR宇都宮線・高崎線・京浜東北線・湘南新宿ライン  
浦和駅(西口)下車 徒歩6分

※駐車台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

## サポーター会員

(公財)埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるよう、作品づくりに努めています。こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのがサポーター会員の皆様方です。(2016.12.25現在/一部未掲載)

(株)与野フードセンター／(株)亀屋／(株)松本商会／(有)香山壽夫建築研究所／埼玉新聞社／埼玉りそな銀行／(株)パシフィックアートセンター  
(株)アサヒコミュニケーションズ／FM NACK5／カヤバ システム マシナリー(株)／(株)タムロン／(株)十万石ふくさや／森平舞台機構(株)  
東芝エルティールエンジニアリング(株)／埼玉トヨタ自動車(株)／(有)齋賀設計工務／武蔵野銀行／浦和ロイヤルパインズホテル／アルピーノ村／国際照明(株)  
埼玉スバル／桶本興業(株)／(株)佐伯紙工所／(株)太陽商工／(株)しまむら／不動開発(株)／ビストロ やま／埼玉縣信用金庫／(株)栗原運輸／彩の国SPグループ  
(有)プラネッツ／関東自動車(株)／(株)デサン／セントラル自動車技研(株)／丸美屋食品工業(株)／ボラスグループ／ひがし歯科／埼玉トヨペット(株)  
公認会計士 宮原敏夫事務所／(株)価値総合研究所／(株)埼玉交通／(医)顕正会 蓮田病院／サイデン化学(株)／アイル・コーポレーション(株)／五光印刷(株)  
旭ビル管理(株)／ヤマハサウンドシステム(株)／(株)エヌテックサービス／(株)クリーン工房／(株)つばめタクシー／(株)サンワックス／(株)総合舞台  
(一財)さいたま住宅検査センター／国大グループホールディングス／(株)NEWSエンターテインメント／オーガスアリーナ(株)／イープラス／六三四堂印刷(株)  
(医)榎会 林整形外科／埼玉県整形外科医会／(医)山粋会 山崎整形外科／サンケイリビング新聞社／(株)三和広告社／(株)セノン／ショッパー／(株)松尾楽器商会  
JA埼玉県中央会／日本大学芸術学部／(株)川口自動車交通／(株)ホンダカーズ埼玉／ファミリーマートあすまや／(有)杉田電機／丸茂電機(株)  
太平ビルサービス(株)さいたま支店／(株)片岡食品／(株)協栄／(株)ヨコハマタイヤジャパン／NTT東日本 埼玉事業部／チャコット(株)／(株)平和自動車  
光陽オリエントジャパン(株)／さくら Music Office／クワバラ・パンぷキン／駒橋内科医院／東和アークス(株)／テレビ埼玉／日本ピストンリング(株)  
金井大道具(株)／国立大学法人 埼玉大学／(株)七越製菓／ビーンズと野本町／(一社)埼玉県経営者協会／(株)コマーム／(株)原一探偵事務所／飯能信用金庫  
川口信用金庫／青木信用金庫／(株)和幸楽器／淑徳と野中学・高等学校／新日本ハウス(株)／埼玉栄中学・高等学校／大栄不動産(株)／相川 宗一  
(株)ハイデイ日高／浦和実業学園中学・高等学校／松林幸子／三井隆司／大和証券(株)／AGS(株)／(株)ジャスト／(株)ワイイーシーソリューションズ

お問合わせ (公財)埼玉県芸術文化振興財団 サポーター会員担当 TEL.048-858-5507



画●磯良一

## 「いるような、いないような」

文●岩松了

目の前を傘をさしたおばさんが歩いていた。私も傘をさそうかなと思ったが、霧のような細かい雨、まだいいかと傘を手に持ったまま歩いていると、一軒の家から出てきたその家の奥さん、傘を開きかけて空を見上げた。その人に目の前を歩いていたおばさんが笑顔で挨拶をした。こう言って。

「いるような、いないような」

この絶妙なセリフ！ 同じ状況の芝居を即興でつくるとしても、こうはいくまい。まあ普通に考えれば「降り出しそうですね」あたりに落ち着くだろう。演出家は「もうちょっとひねったセリフない？」と言うかもしれない。役者たちは傘を持って、再トライ。ひねった結果が何パターンか披露される。が、「何げなさなくなるよね」「ひねろうとした魂胆だけが透けて見えるよね」で、却下。そして演出家は、「こういうのどう？」ってことでとっておきのセリフを提出する。

「いるような、いないような」

ところが役者たちから思ったほどのリアクションがないので、「いやだから片方が空を見上げて〈傘をさそうか、さすまいか〉ってところなんだよ、と補足し、この絶妙なセリフのその絶妙さを説明しようとする演出家だが、何がどうなったのか、上手く伝わらず……。[結局、選ぶとした時点でひねってるよね、この〈いるような、いないような〉にしてもさ]という稽古場の大勢。

選んだんじゃない、実際に聞いたセリフだよ！と演出家は言おうとするが、確かに今は選ぶとして……。との思いに至る。そして、ふと、何かが抜け落ちていいる、と感じる。何が？

自分だ、二人を見ていたこの私。そうか、登場人物が一人足りなかったんだ！

二人を見ていたつもりの私も実は見られていたのだ！ 誰に？ 演劇に！ よもや見られているとは思ってもなかった私という登場人物こそ、絶妙の存在ではないか！ かくして“絶妙”は《部分のセリフ》から《構造の問題》に移行した。この傍観者然とした者を見逃さないことによって、演劇は写実を超えるのかもしれない。

いわまつ・りょう

劇作家、演出家、俳優、映画監督と幅広く活躍。さいたまゴールド・シアター『船上のピクニック』『ルート99』の劇作を手掛けた。5・6月に作・演出を手掛ける『少女ミウ(仮)』上演予定。